

令和6年度 岩手県立釜石高等学校（全日制）経営計画

校長：青木 裕信

1 校訓・教育目標	1 校訓：「文礼一如」 2 教育目標：「知・徳・体」を備え、調和の取れた人間形成 豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成 広い視野を持ち、社会に貢献する人材の育成													
2	スクール・ポリシー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー) ・確かな学力を身につけ、変化し続ける社会の中においても学び続けることで、可能性を切り拓く意志（こころ）を持った生徒を育てます。 ・社会の中で自らの価値を発揮しようとする姿勢を持ち、将来のあるべき姿を思い描ける豊かな意志（こころ）を持った生徒を育てます。 ・失敗しても立ち直り、必要なときには勇気を持って他者に助けを求めることができる、鋼鐵（はがね）の強さとしなやかさを持った生徒を育てます。												
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	・高校での学びが社会生活に活かされると実感することで、学が意義を理解し、自ら課題を発見し解決しようとする姿勢を培います。 ・学校内外のさまざまな人と関わる中で、多様な生き方のモデルを獲得し自らの強みを発見して自分の進路を見通す力を養います。 ・学校が生徒の身体・精神の安全が保障される場であることを前提として、生徒が自ら挑戦し、行動することで自立を促す場として機能するカリキュラムを進めていきます。												
	(3) 入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	・これまでに学んだことを釜石高校での学習に活かし、自分の興味ある分野に留まらず幅広い学問領域について学ぶ意欲を持った生徒。 ・自身と価値観の異なる相手ともコミュニケーションを取ろうとする、他者に対して開かれた姿勢を備えた生徒。 ・やりたいこととやるべきことの折り合いを付け、規則正しい生活習慣を積み重ねることができる生徒。												
3	魅力化協働パートナー	学校関係者、地域関係者、SSH関連関係団体、その他												
4	目指す学校像	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">重点目標</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">達成指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 生徒がICT等活用授業を通して学力の向上を実感している</td> <td>・ICTを活用するなど教え方が工夫され、授業がわかりやすいと答えた生徒の割合【80%以上】(授業アンケート)</td> </tr> <tr> <td>イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している</td> <td>・さまざまな人と関わり、進路や将来について明確な目標ができたと答えた生徒の割合【82%以上】(学校評価アンケート)</td> </tr> <tr> <td>ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている</td> <td>・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【74%以上】(SSH課題研究発表会アンケート)</td> </tr> <tr> <td>エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる</td> <td>・学校がいじめの未然防止や早期発見、速やかな対応に努めていると答えた生徒の割合【80%以上】(学校評価アンケート)</td> </tr> <tr> <td>オ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている</td> <td>・生き生きとした安全・安心な学校生活を送っていると答えた生徒の割合【84%以上】(学校評価アンケート)</td> </tr> </tbody> </table>	重点目標	達成指標	ア 生徒がICT等活用授業を通して学力の向上を実感している	・ICTを活用するなど教え方が工夫され、授業がわかりやすいと答えた生徒の割合【80%以上】(授業アンケート)	イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している	・さまざまな人と関わり、進路や将来について明確な目標ができたと答えた生徒の割合【82%以上】(学校評価アンケート)	ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている	・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【74%以上】(SSH課題研究発表会アンケート)	エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・学校がいじめの未然防止や早期発見、速やかな対応に努めていると答えた生徒の割合【80%以上】(学校評価アンケート)	オ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている	・生き生きとした安全・安心な学校生活を送っていると答えた生徒の割合【84%以上】(学校評価アンケート)
重点目標	達成指標													
ア 生徒がICT等活用授業を通して学力の向上を実感している	・ICTを活用するなど教え方が工夫され、授業がわかりやすいと答えた生徒の割合【80%以上】(授業アンケート)													
イ 生徒がキャリア教育を通し、将来設計し、進路希望の実現を目指している	・さまざまな人と関わり、進路や将来について明確な目標ができたと答えた生徒の割合【82%以上】(学校評価アンケート)													
ウ 生徒が卒業生・地域等の多様な人たちと協働しながら、探究活動を主体的に行っている	・卒業生や地域人材との交流が有意義だと答えた生徒の割合【74%以上】(SSH課題研究発表会アンケート)													
エ 実効的に機能する「学校いじめ対策組織」を構築し、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる	・学校がいじめの未然防止や早期発見、速やかな対応に努めていると答えた生徒の割合【80%以上】(学校評価アンケート)													
オ 生徒が心理的にも身体的にも安全・安心な学校生活を送っている	・生き生きとした安全・安心な学校生活を送っていると答えた生徒の割合【84%以上】(学校評価アンケート)													
	(2) 取組方針	ア 45分×7時間授業の充実と生徒のICT等活用の促進のための取組 (ア) 45分×7時間授業への対応 (イ) 生徒のICT等活用を通じた授業改善 イ キャリア教育を通じた生徒の将来設計への支援、進路希望の実現のための取組 (ア) 生徒の適性やニーズに応じ、自己決定を促す計画的な進路指導 (イ) 復興担い手育成支援事業(進学)を活用した講座等への参加 ウ 多様な人材と連携・協働した探究的なゼミ活動の展開のための取組 (ア) 全生徒・全職員によるゼミ活動の充実 (イ) 地域の教育資源の活用や関係諸団体、卒業生との連携・協働 エ 早期発見と解消に向けた適切な対処のための取組 (ア) 「学校いじめ防止基本方針」に基づいた取組とその改善 (イ) 「抱え込み」のない、「学校いじめ対策組織」を中心とした情報共有と組織対応 オ 安全・安心な教育環境の提供のための取組 (ア) 生徒への指導方法の改善等に係る日頃からの情報共有や意見交換 (イ) 防災教育を中心とした学校安全管理の推進												